

学校だより



いい話



校長 続橋 正寿

今年に入り、学校に嬉しいニュースが届いています。いくつか紹介します。

- ・ベビーカーから落ちた物に気づき、駆け寄って拾い、持ち主に渡した。
- ・風で看板が落ちてきそうな強風の日に飛ばされたタオルを拾い集め、お店に届けた。
- ・住んでいるマンションのごみ置き場がカラスに荒らされているのに気づき、掃除をした。
- ・3年生の給食最後の日「3年間、おいしい給食をありがとうございました」とスタッフにお礼を伝えた生徒がいた。

どの出来事も素晴らしい行動ですが、私たち教職員が特に嬉しかったのは、どの生徒も誰かに言われてではなく、自分から行動しているところです。それと人に褒められたり、何か見返りを求めたりしているわけでもなく、人として当たり前のことをしているだけという意識です。台中生は、素直で、優しく、自然体で行動できる素晴らしい生徒です。

その場面を見ていた人、伝えてくれた人が皆さん笑顔で褒めてくださいました。心が温くなる光景だったと思います。おそらく、他にも同じようなことが様々なところで起きていることでしょう。私たちが知っているのは、ほんの一部なのでしょうね。これからも台中生が地域の一員として、他者を思いやれる行動を続けてほしいものです。

中学生ですからときとして地域の方が苦言を呈したくなる場面もあるかもしれませんが、ともに育てていきましょう。また、善い行いを見たときには、ご一報いただけると幸いです。よい地域は、よい子どもを育て、よい子どもは、将来地域を支える人となります。今後とも学校、家庭、地域が適切に連携し、子どもの健全育成を進めてまいりましょう。よろしく願いいたします。

最後になりましたが、この1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

//////////////////////【1年生】//////////////////////

～ 球技大会・「まちの先生」 ～

3月13日、柔らかな春の日差しの中、初めての球技大会を行いました。種目はドッジボール。白熱した試合が繰り広げられ、グラウンドにはどのコートからも互いに励まし合う元気な声が響いていました。早朝から会場準備をしてくれた体育祭実行委員のみなさん、キャプテン、審判として運営に力を貸してくれたみなさん、ありがとうございました。また一つ、行事を通して“大事なもの”を見つけることができたでしょうか。



翌14日には講師の先生をお招きして「まちの先生」の授業が開かれました。各クラスが2つのグループに分かれて、ペットリマー・消防署・TV ディレクター・保育士・ゲームクリエイター等、18種のコースのうち2つの講義を受けました。興味深いお話に耳

を傾け、コースによっては体験コーナーもあって、とても充実した時間を過ごせたようです。世の中には様々な仕事があり、私たちの生活を支えてくれている

ことを改めて実感できました。学んだことを糧に、次年度以降も前へ進んでいきたいと思ひます。

保護者のみなさま、引き続きご支援よろしくお祈ひします。

//////////////////////【2年生】//////////////////////

球技大会 3月15日(金)

雲一つない青空のもと、昨年も行つたドッジボールにサッカーが加わつた2種目での開催となりました。2年生最後の学年行事、楽しむことはできましたか？特にルールが複雑なサッカーでは、サッカー経験者のみなさんにも審判のご協力いただきながら運営をすることができました。球技大会実行委員は、学年行事や学校行事はみんなで支えあい、協力をしながらできることを実感しました。順位が発表されると、ガッツポーズで喜ぶ人、中には悔し泣きをしていた人もいたようです。それだけ真剣に、一生懸命取り組んだ証拠ですね。来年度も様々な場面でみなさんの「全力」な姿が見られることを楽しみにしています。

球技大会担当 吉岡美樹



3月12日（火）に行われた卒業証書授与式に生徒会本部役員と学級委員が参加し、多くの生徒は教室のテレビで見学しました。3年生の素晴らしい合唱に心を打たれていたようです。また、自分たち赤学年が日吉台中学校の最高学年になったことを自覚した瞬間でもありました。これからの1年間、多くのことを経験し成長し飛躍することを職員は祈っています。保護者の皆様におかれましては、学習活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

2学年主任 宮本裕史



//////////////////////【3年生】//////////////////////
～・自分を大切に・～

3月12日、第76回卒業証書授与式が行われ、緑学年の生徒345名が大きく羽ばたいていきました。「制限のある生活」から少しずつ「当たり前の日常」がもどっていくなかでの中学校生活。「今できること」を考え、楽しみながら活動している姿が多くみられた3年間でした。

卒業前の保健学習で「生命の誕生」や「命の大切さ」について講師の先生に来ていただき、学びました。

生徒の感想をいくつか紹介します。

- ・生まれてくることは25兆分の1だということ。今の親から無事に生まれ、親、学校、環境全部キセキだと思つて幸せに感じました。
- ・赤ちゃんを抱いてみて、ひじの内側から頭がぐらりと落ちてしまったとき、自分の両親は少しの間でもこんなに大変なことを大きくなるまでずっと続けていてくれたのだと思つて感謝しました。
- ・自分の価値観を押し付けなくて、考え方は人それぞれであると確認する。またその考えを広めていくことが大切。
- ・命についての知識をもつことで、自分だけでなく相手の心や命を守ることができるとわかった。
- ・自分を大切にすることとはしっかり考えていろんなことをすることだと思つていました。

令和6年3月7日(木) 特別時間割 ～大切な命・お互いを大切にしよう～ 感想より
自分自身を大切に、周りの大切な人も大切に。そして人と人とのつながりを大切に、これから道のりを歩いていってください。卒業おめでとうございます。

【個別支援級】

11組の3年間

3月12日(火)、11組の3年生も中学校を卒業し、それぞれ自分の道へ歩み始めました。3年生が入学した2021年度、まだコロナ禍で行事や日常生活に影響がある年でした。入学式が不安で入れなかった生徒もいました。それから2年が経ち、心も身体も大きくなり、笑顔と充実感に満ちあふれていた様子でした。思い返してみれば、修学旅行や合同宿泊学習、合同体育祭、合同学芸会…1年間通して行事ができるようになった年でもありました。行事を通して班長や実行委員、最上級生としてクラスを引っ張り、とても頼りになる、優しさであふれた3年生でした。掲示してある写真や掲示物を見て、「3年間はあっという間」という声がたくさん聞こえてきます。学校生活で日々悩むことや不安も多かったことと思います。それでも今の3年生は、一歩踏み出す勇気の大変さや大切さ、やりきった後の笑顔と達成感を教えてもらいました。そして迎えた卒業式、ステージの上で卒業証書をもっている姿に3年間の姿がたくさんつまっていました。この日吉台中学校の思い出を大切に、胸張って前を向いて進んでいってください。みんな11組から応援しています。

4月には新入生が入ってきます。今の1、2年生が日吉台中11組を引っ張っていく番です。心の準備はできていますか。先輩たちの残してくれた「楽(しい)」と「伝統」を引き継ぎ、新しい11組を一緒につくっていきましょう。

★生徒の来年度の目標(一部抜粋)

- ・後輩に優しくする(現1年生)
- ・学級係をがんばります(現1年生)
- ・がっしょうコンクールのうたをがんばります!(現2年生)
- ・とにかく楽しむ(現2年生)

